



平成 25 年 7 月 25 日

各 位

東京都千代田区大手町二丁目 6 番 1 号
信越化学工業株式会社
代表取締役社長 森 俊 三
(コード番号 4063)

問 合 せ 先 :
取締役経理部長 笠原俊幸
TEL (03) 3246-5051

業績予想および配当予想に関するお知らせ

未公表でありました平成 26 年 3 月期の連結業績予想及び配当予想を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想 (注) 予想数値は概算値です。

(1) 平成 26 年 3 月期 通期 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	—	—	—	—	—
今 回 発 表 予 想 (B)	1,060,000	170,000	180,000	110,000	258.78
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 25 年 3 月期)	1,025,409	157,043	170,207	105,714	248.94

(2) 平成 26 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	—	—	—	—	—
今 回 発 表 予 想 (B)	540,000	88,000	95,000	60,000	141.16
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前 年 同 期 実 績 (平成 25 年 3 月期 第 2 四半期累計期間)	536,998	83,620	86,016	55,700	131.18

2. 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	未定	未定	未定
今 回 予 想	50 円	50 円	100 円
前期実績（平成 25 年 3 月期）	50 円	50 円	100 円

3. 概要

米国経済は回復基調を継続していますが、欧州では財政問題への懸念が残り、中国や新興国経済は足踏み状態が続き不透明な状況となっています。日本経済は一部の経済指標に改善の兆しが見えてきましたが、依然として予断を許さない状況が続いています。

当社グループの主力製品には、需給の変化や原料価格の変動の影響を受けるものがあります。半導体シリコンはパソコンやスマートフォンなど電子機器向け半導体デバイスの需要動向の変化に伴うウエハー市況の変動の影響を受けます。塩ビ・化成品事業の中核をなす米国シンテック社は、当第1四半期も大幅に利益を伸ばし連結決算に大きく貢献しましたが、汎用樹脂である塩ビの世界の市況と原料価格の変動が業績に影響を及ぼすことがあります。電子・機能材料事業の希土類磁石では、原料のレア・アースの価格が2010年以降大きく変動しています。

また、当社グループの売上の約3分の2が海外売上であり、為替の変動は当社の事業と海外子会社の業績を日本円に換算する際に影響を及ぼします。

上記の通り、世界経済の先行きと当社グループの事業を取り巻く状況が不透明なことから、今回開示しました業績予想は前第4四半期及び当第1四半期の実績に重点を置いたものとなりました。

また、配当金につきましては、中間、期末共に前期と同額の1株当たり50円と予想しております。これにより、年間合計の配当予想は前期と同額の1株当たり100円となります。

当資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた記述であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、様々な要素によりこれら業績見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績等に影響を与え得る重要な要素には、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。ただし、業績等に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

以 上